

## 第33回（2023年）全国花のまちづくりコンクール 受賞者決定 ～花の社会性がまちをつくる～

花のまちづくりコンクール推進協議会（会長 野路國夫）は、第33回（2023年）全国花のまちづくりコンクールの各賞受賞者を、全国応募総数 878 件の中より決定しました。

### 【コンクール概要】

全国花のまちづくりコンクール（提唱：農林水産省及び国土交通省、主催：花のまちづくりコンクール推進協議会）は、1990年に開催された国際花と緑の博覧会の理念「自然と人間との共生」を継承し、花のまちづくりの発展及び花の社会性の向上を目的に、1991年より全国各地の優れた花のまちづくり活動を表彰しています。

### 【対象】

全国の「市町村」「団体」「学校」「個人」「企業」

### 【特徴「花の社会性」】

花は、人と人、人と社会をつなぐツールです。花が地域社会に及ぼすプラスの影響を「花の社会性」と呼んでいます。花のまちづくりは、地域の環境づくりやコミュニティづくり、人づくりに資する「花の社会性」をまちづくりに活かす活動です。

### 【花のまちづくりコンクール推進協議会 構成団体】

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

公益財団法人都市緑化機構

一般財団法人日本花普及センター

公益財団法人日本花の会

### 【受賞者】

別紙の通り。表彰式及び受賞者交流会は、10月31日（火）に法曹会館で開催予定です。

【お問い合わせ先】コンクール事務局：公益財団法人日本花の会（担当）武藤

〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6 コマツビル

TEL：03-3584-6531（080-9093-4568） FAX：03-3584-7695

chika\_mutoh@global.komatsu

<https://www.hananokai.or.jp/city/>

## 第33回（2023年）全国花のまちづくりコンクール受賞者一覧

応募者数 878 件

(市町村部門 2) (団体部門 526) (学校部門 193) (個人部門 135) (企業部門 22)

## 大賞 【5件】

大賞 農林水産大臣賞	団体部門	花てまりの会	和歌山県那智勝浦町
	個人部門	太田 よしの	兵庫県香美町
大賞 国土交通大臣賞	団体部門	天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト	静岡県浜松市
		咲かそうひまわり	愛知県碧南市
大賞 文部科学大臣賞	学校部門	黒部市立若栗小学校	富山県黒部市

## 優秀賞 【10件】

優秀賞	団体部門	しらかわバラの会	福島県白河市
		一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	東京都小平市
		伊豆の国市商工会 女性部	静岡県伊豆の国市
		特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワーク	愛知県田原市
		緑花クラブKOB E	兵庫県神戸市
		名塩さくら台景観緑化クラブ	兵庫県西宮市
	学校部門	五霞町立五霞中学校	茨城県五霞町
		長岡市立桂小学校	新潟県長岡市
	個人部門	西川 新吾	滋賀県近江八幡市
	企業部門	あわじ花の歳時記園	兵庫県淡路市

## 奨励賞 【4件】

奨励賞	団体部門	大湯「パンジーの会」	秋田県鹿角市
		小杉花作り同好会	富山県射水市
		あいちサトラボ里山開拓団	愛知県長久手市
		フローラル レディース	宮崎県延岡市

入選 【37件】

入選

市町村部門	美幌町・美幌町フラワーマスター連絡協議会	北海道美幌町
団体部門	チーム夢（ときわ）	北海道栗山町
	飯室谷町会	神奈川県川崎市
	高岡市立醍醐公民館 花と緑の推進部会	富山県高岡市
	市井自治会	富山県射水市
	花と緑の銀行 上市支店	富山県上市町
	木場潟フローラの会	石川県小松市
	小瀬戸花いっぱいの会	静岡県静岡市
	高松宮竹花と緑の会	静岡県静岡市
	緑地花壇の会	愛知県名古屋市
	グルッポふじとう地域住民サポーター さくらクラブ	愛知県春日井市
	高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会	愛知県春日井市
	堀切地区ボランティアの会	愛知県田原市
	伊丹市フラワーリーダー同好会8期生	兵庫県伊丹市
	鶉野中町花家族の会	兵庫県加西市
	岩出まちづくり協議会 花のまち IWAD E委員会	和歌山県岩出市
	下里とも子ガーデン	和歌山県那智勝浦町
	小川お花畑ぐるーぷ	和歌山県古座川町
	ふれあいガーデン「くすな」	広島県広島市
	横川第二公園園芸クラブ	広島県広島市
	金田第一町内会	福岡県北九州市
ふくおか花と緑の連絡会	福岡県福岡市	
学校部門	館林市立第九小学校	群馬県館林市
	掛川市立千浜小学校	静岡県掛川市
	海南市立巽小学校	和歌山県海南市
	みなべ町立高城小学校	和歌山県みなべ町
	認定こども園 高見の森保育園	福岡県北九州市
個人部門	海老沼 信江	栃木県壬生町
	松本 茂治	群馬県館林市
	佐野 誉志照・恵美子	静岡県浜松市
	吉塚 志津恵	愛知県江南市
	房谷 弘之	兵庫県姫路市
	奥川 きみ子	兵庫県西宮市
	尾花 幸雄	兵庫県加西市
	苅尾 安正・希美子	兵庫県たつの市
	松浦 さつき・千春	兵庫県たつの市
	佐々木 裕哲	和歌山県有田川町

### 努力賞 【3件】

地域の花のまちづくりに協力・参画している活動を選賞します

(四つ葉賞 福祉施設などを対象) (若葉賞 継続年数3年未満を対象)

努力賞 四つ葉賞	企業部門	医療法人社団 篠原医院	静岡県菊川市
努力賞 若葉賞	市町村部門	藤枝市花と緑の課・蓮華寺サポーター	静岡県藤枝市
	団体部門	北九州市立小嶺児童館	福岡県北九州市

### 特別賞 【3件】

当コンクールにおいて入賞回数の規定回数に達した継続的な活動を特別に称えます

(ゴールド賞 入賞回数10回) (シルバー賞 入賞回数5回)

特別賞 ゴールド賞	個人部門	尾花 幸雄	兵庫県加西市
特別賞 シルバー賞	団体部門	大湯「パンジーの会」	秋田県鹿角市
	個人部門	苅尾 安正・希美子	兵庫県たつの市

以上

## 第 33 回（2023 年）全国花のまちづくりコンクール

### 大賞 農林水産大臣賞

#### 【団体部門】花てまりの会（和歌山県那智勝浦町）

世界遺産の熊野古道や熊野那智大社、勝浦漁港がある那智勝浦町には、多くの観光客が訪れます。花てまりの会は「綺麗な花壇でおもてなしをして、町を活性化したい」と2004年に活動を始めました。現在は9名で、那智勝浦海浜公園や紀伊勝浦駅前など、町内7箇所の花壇を軸に活動しています。年間を通じ「海の町に映える華やかな彩り」を意識した植栽を展開しているほか、花を欠かさないための栽培技術向上や、美化活動にも努めています。

おもてなしの心を19年に亘り花で表現し、町の活性化に貢献している点や、地域での活動が評判を呼び、新宮市の団体からも声が掛かるなど、花のまちづくり活動が周辺にも波及している点が、大変高く評価されました。



### 大賞 農林水産大臣賞

#### 【個人部門】太田 よしの（兵庫県香美町）

山陰海岸国立公園の一角、香美町訓谷地区は風光明媚な土地で多くの方が訪れます。太田さんは2001年に同地移住後「地域を花で盛り上げたい」と2002年から自宅庭を公開するオープンガーデンを地域の方と始めました。取り組みは同地に根付き「佐津地区オープンガーデンフェスタ」として、近年は2日で約800人が訪れる催しに発展しています。そのほか、育て易い花苗を年2回配布し、各戸2鉢ずつ軒先で育てて飾る「2鉢運動」に取り組み、同地区45軒の方と海に繋がるフラワーロードを築いています。

地域の方と連携し、誰もが無理なく楽しく続けられる花のまちづくりを実践している点や、後進の育成、広域でも積極的に活動に取り組んでいる点が、大変高く評価されました。





## 第 33 回（2023 年）全国花のまちづくりコンクール

### 大賞 国土交通大臣賞

#### 【団体部門】天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト（静岡県浜松市）

浜松いわた信用金庫と天竜浜名湖鉄道、はままつフラワーパークが母体となり、2018 年から天竜浜名湖鉄道の駅や沿線を中心に、区間ごとに担当を決めて管理するアダプト方式の花壇づくりを 18 箇所で開催しています。メンバーは 133 の企業・団体・学校、参加人数は延べ 9,210 人を数え、地域コミュニティの再生や観光振興に大きな役割を果たしています。かつて雑草や不法投棄のゴミにより景観が損なわれていた場所は、花木の植栽地になったことで住民の散歩コースなどにも使われるようになり、明るいまちづくりに寄与しています。

活動の発展性や、花のまちづくりが鉄道自体の存続や地域の連帯にもつながる先進事例であることが、大変高く評価されました。



### 大賞 国土交通大臣賞

#### 【団体部門】咲かそうひまわり（愛知県碧南市）

荒れた遊歩道の改善のために 1998 年にひまわりを植えたのが始まりです。「公園でのガーデニングはお金が無くてもできる贅沢」という考えに賛同者が増え、活動面積は水源公園を含む 5 箇所（計 5,200 m<sup>2</sup>）の花壇、周辺の緑地（計 25,000 m<sup>2</sup>）に達し、53 人の市民有志による日々の活動によって、花壇には四季折々の草花が咲き誇り、見通しが良くゴミ一つない緑地が維持されています。各種イベントの企画を通じて公園交流人口も増加し、高齢者の生きがい、就業支援の学習、世代や国籍を超えた交流の場所としても活用されてきました。

四半世紀に及ぶ地道な市民活動によって、広大でありふれた存在であった公園が「市民のニーズに沿った憩いの場」として活用されるようになった点が大変高く評価されました。



## 第 33 回（2023 年）全国花のまちづくりコンクール

大賞 文部科学大臣賞

【学校部門】黒部市立若栗小学校（富山県黒部市）

今年創立 150 年を迎えた同校の花壇は「フラワーランド」の愛称で地域から親しまれ、同校のシンボルです。1978 年に「草花に親しみ、自然とのふれ合いを通して情操を豊かに」と、造られました。以来 45 年間、児童による環境委員会を中心に、教員・PTA・住民の協力のもと花壇活動を継続しています。テーマとデザインは毎年全児童（本年 101 名）から募集し、児童がアイデアを組み合わせ決めていきます。日頃から花緑に親しむ時間が多く設けられ、春と秋（年 2 回）保護者も協働で花壇整備を行うほか、地域の協力が得られる体制が整備されています。

花のまちづくりの担い手を永年輩出している点や、地域間の人間形成においても価値の高い活動となっている点が、大変高く評価されました。

